

# 市立病院だより

## 平成24年新年号

### 目次

- 新年の「挨拶」 病院長 瓜生 康平……………1
- 『睡眠時無呼吸症候群とは』耳鼻咽喉科医師 竹内 頌子……………2
- 在宅支援室の紹介……………3
- 中間市コミュニティ文化祭参加の報告等、外来診療案内……………4



題：「高千穂の夜神楽」 撮影者：川崎 敦子 様（フォトクラブ中間）ご提供

### 新年の「挨拶」

中間市立病院 病院長 瓜生 康平

新年明けましておめでとうございます。

まず、昨年3月の東日本大震災により被災された多くの方々に哀悼の意を表すと共に、復興への新たな道のりを歩き始められた被災者の方々の努力が結実することを祈念いたします。数多の困難の中、被災地で医療活動を続けられている方々の強い志と実行力に畏敬の念を覚える一方で、私たちが落ち着いた環境で医療に専念できることの有難さをあらためて感じております。

当院を振り返ってみますと、平成22年度決算は僅かではありましたが5年ぶりに黒字決算を計上することができました。これは職員のみで達成したことではなく、当院のことを気にかけて利用していただいている多くの皆様のお力添えや日々患者さんのお世話をしていただいている院内ボランティアの方々のご協力があつて初めて達成できたものであり、大変感謝しております。平成23年4月からは脊椎外科を専門とする力丸医師が就業し整形外科の手術が再開できました。皆様のお役に立てるものと期待しております。さらに従来の取り組みに加えて、当院主催の“転倒予防教室”や“在宅支援教室”、中央公民館主催の“きらめき大学・悠々大学”や保健センターとの共催による“生活習慣病教室”での医師やコメディカルによる講話、周辺介護施設との交流会の試みへの参加など、医療のみでなく、公的病院として期待される保健福祉活動への取り組みも開始しました。また院内の情報交換をスムーズにするための院内ホームページを立ち上げ運用し始めるなど、少しずつですが院内の改革も進んできています。

このような中、市長ならびに市議会のご尽力により、今後の病院の運営方針を策定するためのコンサルティング作業が昨年秋季より始まり、また本年2月には64列マルチCTが導入されるなど、新たな病院創りに向けた一歩が踏み出されようとしています。従来同様「安全かつ質の高い医療」と「明るく優しい患者様への思いやり」のある療養環境を提供できる病院像を追及しつつ、今年の干支にちなんで、“昇龍”のごとく発展し続ける希望に満ちた病院像が描ければと考えています。

とは言うものの、当院が公立病院として生き残っていく為には、“公立病院改革ガイドライン”の一つの目標である経常収支の黒字化を継続することが前提であり、職員一同鋭意努力しております。今年もより多くの患者様に当院をご利用いただくことを目標に、さらなる努力をいたす所存です。本年もご支援のほどよろしくお願い致します。

# あなたの睡眠大丈夫？ ～睡眠時無呼吸症候群とは～

耳鼻咽喉科医師 竹内 頌子

## この様な症状ありませんか？

- いつも大きないびきをかく
- 肥満傾向がある
- 高血圧である
- 日中の眠気で困ったことがある
- トイレなどで夜中にしょっちゅう目が覚める
- いくら寝ても疲れがとれない、もしくは朝起きたとき頭痛がある
- 眠っているときに呼吸が止まることもある



当てはまる項目があるようでしたらあなたは睡眠時無呼吸症候群かもしれません。

## 睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時無呼吸症候群は高血圧や糖尿病、脳卒中や心臓病による突然死の危険性を高めるといわれています。健常の人の4倍もいろいろな病気になり易くなるといわれていますし、なかには重症の睡眠時無呼吸症候群の患者さんのうち4割が9年後には亡くなっているとの報告もあります。それだけでなく、良質な睡眠を得られないことで、日中の集中力が低下したり、仕事や作業の能率が低下したりします。別名サイレントキラーともいわれ、気付かないうちに命を脅かす危険な病気なのです。

## 検査と治療

診断には検査が必要です。まずは簡易的な検査として測定機械を貸し出したします。自宅で装着していただき一晩寝ていただく検査です（簡易PSG検査）。

治療としてはCPAP（持続陽圧呼吸療法）や口腔内装置（マウスピース）、場合によっては手術などがあります。CPAPは睡眠時に鼻もしくは口にマスクを装着して、空気を送り込み、狭くなっている空気の通り道を広げる治療法です。機械は貸し出すことができます。CPAPを使用していただくと、朝の目覚めが良くなったり、頭がすっきりするといった方が多くいらっしゃいます。同時に血圧が下がったり、代謝が良くなることによって体重が減ってくる方もいます。



当院では第1・第3土曜日の午前に耳鼻咽喉科で専門の診察をしています。気になる症状のある方はぜひ一度ご来院ください。

# 在宅支援室の紹介

当院では、平成20年7月より在宅支援室が開設され、現在4名の看護師が訪問看護を行っています。

## 訪問看護とは？

看護師が、地域で生活をする病気や障がいのある人の生活の場を訪問して、その人や家族に提供する専門的看護サービスです。



## 例えばどんな事をしてくれるの？

- ・療養上のお世話：病状の観察、排泄の援助  
清潔の援助、体位交換と指導  
服薬管理、本人・家族への療養指導
- ・診療の補助：床ずれの処置、カテーテル管理  
点滴、採血、検尿
- ・リハビリテーション
- ・家族支援に関すること：家族への療養上の指導や相談

## 昨年是一般の方を対象に在宅支援教室を2回開催しました。

第1回 テーマ：在宅ケアって何？ 何ができるの？

- ・在宅サービスの内容、利用方法
- ・介護保険の申請について

第2回 テーマ：実技を含めた在宅介護について

- ・実際に手にとって、在宅での看護や介護を、より身近に感じてほしい



時代は高齢化社会です。何かしらの病気や不安、不便を抱えながらもご自宅で自分らしく過ごしたいと思いませんか？ 本当に困ってからではなく、前もって少し意識しておくだけできっと役に立つことがたくさんあります。在宅療養を継続させるには、一人で抱え込まない事と頑張り過ぎない事が大切です。

● お問い合わせ先 中間市立病院 在宅支援室 (093)245-0981 (代表)

**中間市コミュニティ文化祭に参加しました**

平成23年10月29日、中間市中央公民館で開催されました中間市コミュニティ文化祭に当院も参加しました。

医療相談、栄養相談、血圧測定、体脂肪測定、血糖測定を実施し、160名の方にご来場して頂きました。

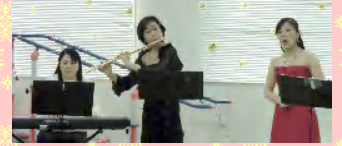
今後も地域住民の皆様の健康推進や病気予防のお役に立てるよう、活動を続けてまいります。



**第8回院内コンサートを開催しました**

平成23年12月17日、当院リハビリ室にて西田和美さん(ピアノ)、金任淑さん(フルート)、山科佳子さん(ソプラノ歌手)をお迎えして恒例のクリスマスコンサートを開催しました。

美しい歌声と息の合った楽器演奏、癒しのひと時でした。当院の職員もミュージックベルを演奏。日頃の練習の成果を披露しました。



**中間市立病院 外来診療案内**

平成24年1月1日現在

専門外来：(1)腎・糖尿病 (2)血液 (3)循環器 (4)膠原病  
(5)呼吸器 (6)消化器 (7)脊椎・脊髄外科

受付時間：7時00分より  
診療開始時間：8時30分より

		月	火	水	木	金	土	
内 科	新患	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
	一般・生活習慣	織田 湯川	川原	湯川	織田	諸富	当番医	
	専門外来	瓜生 (1)	鈴鹿 (1)	稲田 鳥本 (1) 津田 (3)	鈴鹿 高木 (1) 葛城 (2)	瓜生 成澤 (1) 村岡 (3)	折口 (3)	
	午後 専門外来				高木 瓜生 (1)	福與 (4) 櫻井 (5)		
	外科 消化器	午前 一般	江口	鳥巢	鳥巢	九大	江口	秋山 (江口)
	午後 消化器					本間 (6)		
整形外科	午前 一般	石村	土屋 (1, 3, 5週)	石村	石村	米良 (1, 3, 5週)	当番医	
	午後 一般		竹内 (2, 4週)			森 (2, 4週)		
	午前 脊椎	力丸 (7)		力丸 (7)		力丸 (7)		
	午後 脊椎							
泌尿器科	午前	久保	久保	久保	久保	森山	久保	
耳鼻科	午前					当番医	当番医	
	午後		当番医				当番医	

**中間市立病院**

〒809-0014 福岡県中間市蓮花寺3丁目1番7号  
TEL (093) 245-0981 FAX (093) 245-2816  
<http://nakamacity-hospital.jp/>

休診日 毎週日曜日・祝祭日  
毎月第2, 4土曜日

病院長 瓜生 康平

**編集後記**

新年明けましておめでとうございます。  
本年も「病院だより」を宜しくお願いいたします。

(モト)

携帯で読み取ると電話番号が表示されます。

